

## 外科研修プログラム

### I 一般目標 (GIO)

プライマリケアを実践するために、一般外科の基礎的な知識と技術を習得し、医療人として必要な人格、態度を身につける。

### II 行動目標 (SBO)

- \* 適切な問診をおこない、全身の診察を系統的に実施できるようになる。
- \* 適切な医学用語を用いた診療録が記載できる。
- \* 身体所見、検査結果にもとづいて、必要な諸検査を計画し疾患の外科的病態評価を行なえる。
- \* 主要な疾患の診断法、治療法を理解し患者にとって最適な治療法を選択できる。
- \* 外科的治療に必要な基本的な知識（清潔、輸液療法、抗生物質など）技術（気道確保、血管確保、消毒、手洗い、胃管挿入、皮膚切開、止血、縫合、結紮など）を習得する。
- \* 外科的救急患者に対する基本的な検査、処置を習得する。
- \* 患者、家族が納得できるインフォームド、コンセントを理解する。
- \* 守秘義務を果たしプライバシーへの配慮ができる。
- \* 看護師、コメディカルとの円滑なコミュニケーションがとれる。

### III 方略 (LS)

- \* 入院患者を指導医とともに受け持ち、問診、診察をおこない所見を診療録に記載する。
- \* 診断、治療のために必要な検査の組み立てを行う。
- \* 一般撮影、CT、MRI、消化管造影、内視鏡検査の所見を読影する。
- \* 静脈確保、胸腔穿刺、腹腔穿刺を習得する。
- \* 指導医とともに回診を行い患者の状態を把握する。
- \* 指導医とともにソケイヘルニアの手術を行う、他の手術では皮膚の縫合をおこなう。
- \* 指導医の行うインフォームド、コンセントに立ち会う。
- \* 指導医とともに臨終の場に立ち会う。
- \* 救急患者の診療に参加する。
- \* カンファランスに出席し受け持ち患者のプレゼンテーションをおこなう。
- \* 指導医に指示された患者の症例報告をおこなう。